

SDN 市場、2028 年までに 602 億ドル

MarketsandMarkets が発行した調査レポート「ソフトウェア定義ネットワーク市場:オフリング(SDN インフラストラクチャ、ソフトウェア、サービス)、SDN タイプ(オープン SDN、オーバーレイ経由の SDN、API 経由の SDN、ハイブリッド SDN)、アプリケーション別(SD-WAN、SD-LAN、セキュリティ)、エンドユーザ別、業種別、地域別 - 2028 年までの世界予測」によると、SDN の世界市場規模は、予測期間に CAGR 19.7%で成長し、2023 年の 245 億ドルから 2028 年までに 602 億ドルに達すると予想されている。

SDN 導入の主な推進力は、ネットワーク管理を自動化および簡素化する能力。SDN は、制御を一元化することで、手動構成を最小限に抑え、人為的ミスや運用の複雑さを軽減する。この自動化により、プロセスが合理化されるだけでなく、運用コストも大幅に削減される。

ハイブリッド SDN セグメントは、予測期間中に最高 CAGR で成長する見込み

ハイブリッド SDN の主な市場推進力は、スムーズな移行と既存のインフラストラクチャとの互換性を促進する能力。ハイブリッド SDN ソリューションにより、企業は SDN 機能をレガシーシステムにシームレスに統合できる。この互換性により、企業は現在の運用を中断することなく SDN の利点を活用できるため、従来のネットワーク環境とソフトウェア定義のネットワーク環境の段階的な移行と共存が不可欠な業界にとって好ましい選択肢となっている。

クラウドサービスプロバイダセグメントは、予測期間中に最高 CAGR で成長

クラウドサービスプロバイダは、様々なワークロードやユーザの要求に対応するために迅速に拡張できるネットワークを必要として

いる。スケーリングプロセスを自動化し、リソースを効率的に割り当てる SDN の機能は、クラウド環境の動的な性質と一致している。クラウドサービスプロバイダは、世界中の企業や消費者向けに無数のアプリケーション、サービス、コンテンツをホストする広大なデータセンタを運営している。SDN は、自動化されたネットワークプロビジョニング、効率的なトラフィック管理、シームレスなスケーラビリティを実現することで、これらの環境で極めて重要な役割を果たしている。

APAC 地域は、予測期間中に最も急成長しているセグメントとして浮上する可能性がある

アジア太平洋 (APAC) 地域は、中国、インド、日本、オーストラリア、韓国などの主要経済国で構成されており、あらゆる分野で急速な成長と進歩を遂げ、世界的に注目を集めている。APAC 地域の人口の多さは、世界中の投資家にとって大きな牽引力となっている。データセンタの展開は SDN 技術を補完するものであり、技術の進歩に伴い、SDN 市場は指数関数的に成長すると予想されている。